

Company Profile

会社案内



会社概要

- 社 名 / トヨタ自動車九州株式会社
- 本社所在地 / 〒823-0015 福岡県宮若市上有木1番地 TEL (0949) 32-5151 (代)
- 創 立 / 1991年2月8日
- 資 本 金 / 77億5,000万円
- 事 業 内 容 / 自動車およびその部品の製造
- 株 主 / トヨタ自動車株式会社の100%出資
- 総 人 員 / 11,187人 (2026年4月1日)

拠点紹介



宮田工場

所在地 / 〒823-0015 福岡県宮若市上有木1番地

用地面積 / 約113ヘクタール (約34万坪)

操業開始 / 1992年12月22日

工場 / 成形、溶接部品、プレス、ボデー、塗装、組立



苅田工場

所在地 / 〒800-0304 福岡県京都郡苅田町鳥越町9番2

用地面積 / 約32ヘクタール (約10万坪)

操業開始 / 2005年12月20日

工場 / 鋳造、機械加工、組付



小倉工場

所在地 / 〒800-0231 福岡県北九州市小倉南区
大字朽網 (くさみ) 3914番地58

用地面積 / 約34ヘクタール (約11万坪)

操業開始 / 2008年8月1日

工場 / ダイキャスト、機械加工、組付

基本理念

- 法およびその精神を遵守すると共に、より良き地球環境の実現に取り組み、社会に信頼される良き企業市民であり続けます。
- 常にお客様を第一に考え、世界中のお客様に喜びと感動を与えられる、魅力ある商品を提供します。
- グローバルで革新的な経営により、長期安定的に成長すると共に、地域社会の発展および取引先との共存共栄を目指します。
- 労使相互信頼・責任を基本に、ものづくりに熱意を燃やし、やりがいと成長を実感できる「人が主役の、人を大切にした企業風土」を築きます。

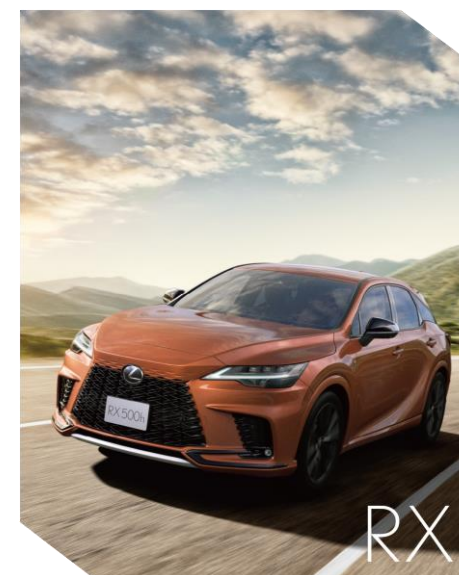
TMK VISION 2035

トヨタ自動車九州2035年ビジョン

**お客様・地域の笑顔のために
TEAM Kyushuで変化を楽しみ未来にチャレンジ！**

～ 循環型モノづくりを実現し電動化の第2の拠点へ～

生產車種



Destination

「世界中のお客様に最高品質のクルマをお届けする」

トヨタ自動車九州で働く全ての仲間が共有する想いはシンプルです。

当社で生産するクルマの多くはアジア、北米、欧州など

海外約80カ国・地域へ輸出しています。

さまざまな国・地域のお一人お一人に

心からご満足いただけるクルマを。

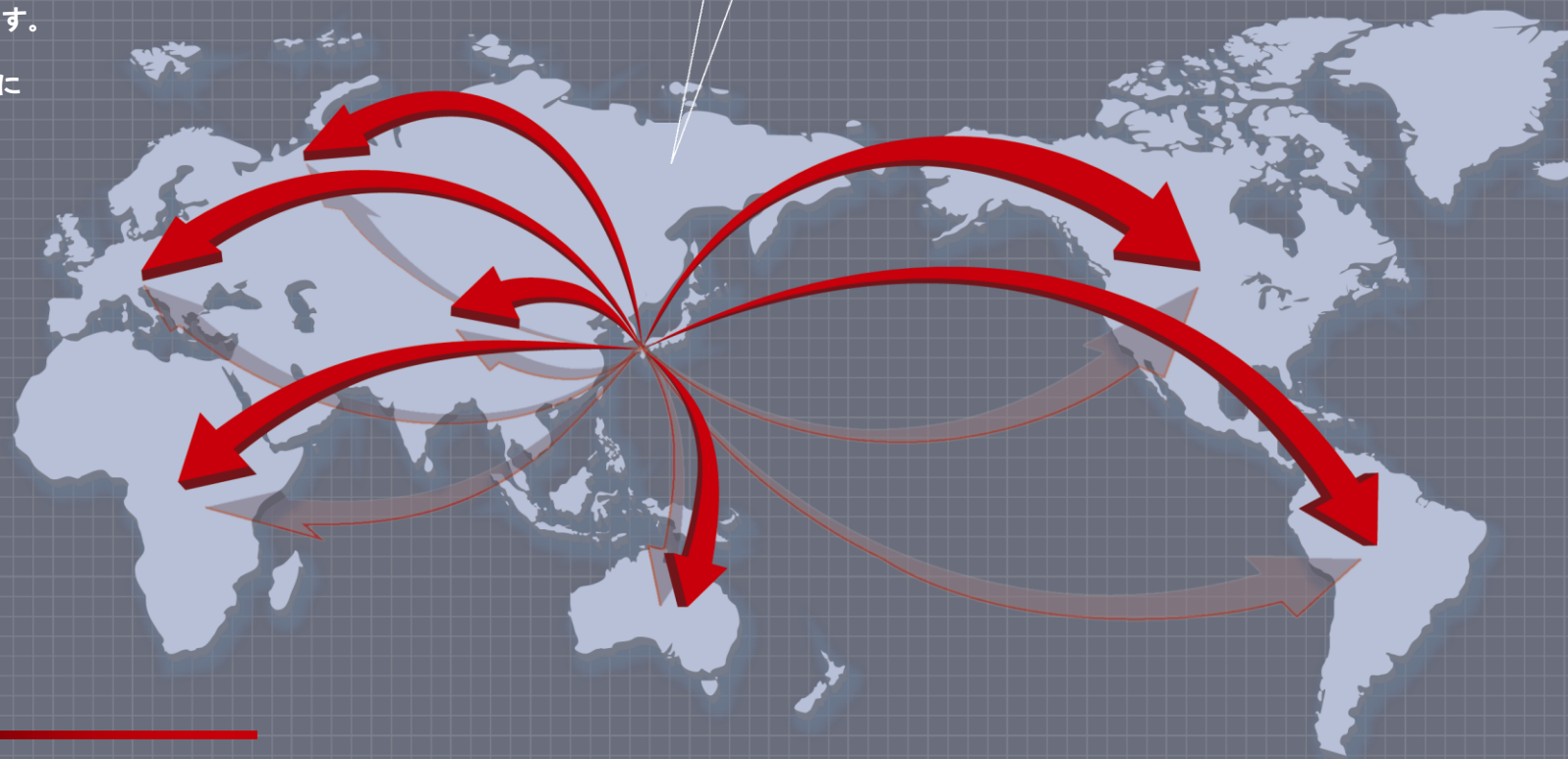
今後も九州から世界へ

品質にこだわり抜いて

作り込んだクルマを

お届けします。

トヨタ九州はLEXUSを世界80カ国へ輸出



仕向地

Manufacturing Process



工程紹介

宮田工場

革新技术と匠の技を融合し、
最高品質の完成車を生産

1 プレス



ドアやフェンダーを大型プレス機の先駆的な技術で加工します。

2 溶接



快適な乗り心地や静粛性を実現する高精度かつ高剛性なボデーをつくります。

3 塗装



内側・外側ともに鏡面のように美しい艶肌の塗面に仕上げます。

4 組立



五感を活かせる整然とした環境で、約6,500点もの部品を組み付けます。

5 検査



約1,800項目の厳格な検査を経て、走行試験で最終確認をします。

Manufacturing Process



苅田工場

精密で高性能なパワートレーンユニットを生産

1 鋳造



最新の生産技術と計測システムを駆使し、高品質の鋳造粗材を供給します。

2 機械加工



全自動工作機械でシリンダブロックなど主要部品を加工します。

3 組付



クリーンな環境で1基ずつ入念に組み付けます。

4 検査



遮音ルームで全数試運転し、精緻に検査します。



小倉工場

高効率・高付加価値のハイブリッドトランスアクスルを生産

1 ダイキャスト



金型にアルミを流し込み、高品質なハウジングとケースをつくれます。

2 機械加工



高い精度を要するハウジングとケースをNCマシンで機械加工します。

3 組付



最新設備でハイブリッド部品を組み付けます。

4 検査



各種検査装置で、動作音や寸法精度を測定・評価します。

開発

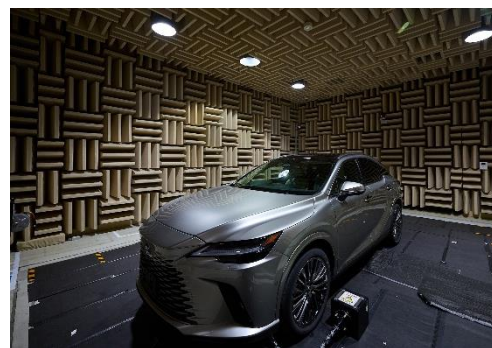


もっといいクルマを 世界中のお客様にお届けするために

世界中のお客様一人ひとりに心からご満足いただけるクルマを一。

100年に一度とも言われる経営環境の変化に適応し、“もっといいクルマ”をお客様にお届けすべく、会社の枠を越えてトヨタ自動車や取引先の皆様などと連携し、開発から製造まで一気通貫のクルマづくりを進めています。

各地域のエネルギー事情や多様なニーズに寄り添いつつ、トヨタの第2の拠点として、HEV・PHEV・BEVの柔軟な生産体制の構築や、サプライチェーン強化に取り組んでいます。また、開発や製造の現場に最新技術を取り入れ、DXや自動化を推進し、モノづくりの競争力を高めています。



技術を駆使した開発

生産現場に近いところで開発に取り組めることがトヨタ九州の大きな特長の一つです。これまでアッパーボデーの内外装部品や駆動ユニットなどを手がけ、高次元の安全性・デザイン性・利便性を実現してきました。開発の一部の領域では検証や評価のプロセスにMR（複合現実）やデジタルツインなどの技術を活用し、モノづくりのDXも進めています。



こだわり抜く品質

一人ひとりが世界中のお客様に最高品質のクルマをお届けするというこだわりを持って、クルマづくりに向き合っています。HEV・PHEV・BEVなど仕様・車種は多岐にわたります。開発・製造の各工程ですべてのクルマの品質をつくり込み、これからもお客様に感動をお届けします。

九州の
モノづくり

九州モノづくり基盤強化



九州の自動車産業の競争力を高めるべく、仕入先の皆様と共にもっといいクルマづくりを推進しています。その基軸となるのがTPS（トヨタ生産方式）です。前後工程だけでなくクルマをお客様にお届けするまでのサプライチェーン全体に目を向け、TEAM Kyushuで一丸となって地域のモノづくりをもっと元気にするためにトヨタ九州は牽引役を担っていきたくと考えています。

TEAM Kyushuの仲間が集まる「九愛会」では、仕入先や関係会社の皆様と一緒に相互研鑽し、競争力の強化や人材育成に取り組んでいます。また、行政機関と連携し現地調達の強化を図って新たに取引先を拡げたり、積極的な産学連携で技術開発を進めたりと、九州のモノづくりの力のさらなる向上を目指しています。世界中のお客様から選んでいただけるクルマを九州からお届けできるようこれからも励んでいきます。

TEAM Kyushu

トヨタ九州の創立15周年にあたる2006年、TMKビジョン2010を策定した際、ビジョンの実現に向けたスローガンとして掲げられたのが「TEAM Kyushu」です。第2の拠点として気持ちを一つにするという社内の団結のみならず、九州の仲間（販売店・仕入先・自治体など）と一丸となり、協力し合って共に発展していきたくという意味も込めています。

環境



環境負荷を低減し、 社会の持続可能な発展に貢献する

私たちは豊かな自然に囲まれた地で、地域の皆様に支えられてクルマづくりができています。この環境や地域の皆様の暮らしを次世代に受け継いでいけるよう、トヨタ九州は環境法令を遵守するとともに、クルマづくりの環境負荷を低減し、社会の持続可能な発展に貢献することを目指しています。そのキーワードは、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」です。2035年までに工場からの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、生産設備・製造工程の省エネ改善や、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を進めています。また、九州エリアの循環型のモノづくりを推進すべく、廃棄物の削減や材料の再資源化に取り組んでいます。

工場のCO2排出削減推進



工場やオフィスでの省エネ活動を通じて、省エネ技術の活用や省エネ設備の導入を継続的に推進しています。また、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を行っています。物流でのCO2排出削減など、工場外でのCO2排出削減にも取り組んでいます。

循環型のモノづくりへ



クルマの製造で生じる廃棄物の適正処理と廃棄物量の削減に取り組んでいます。また、材料を再資源化する施策を、開発部門や協力会社、自治体と連携しながら推進し、循環型社会の実現に向けた基盤づくりにチャレンジしています。

地域の生物多様性の保全



工場周辺地域での特定外来生物の駆除などの活動を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいます。地域の方々に協力いただきながら、自然観察会などのイベントを通じた環境学習で、身近な生態系の豊かさを実感してもらえる機会を、従業員やその子どもたちに提供しています。

ウェル
ビーイング

人が主役の、人を大切にした企業風土



モノづくりに喜びを感じ、働く人全員が尊重し合っていきたいと働く元気な会社になりたい。それが創業以来変わらない私たちの願いです。働く人たちが幸せで、働きがいや満足感のある職場であってこそ、高品質のクルマが生まれます。そして、健康は本人のみならず、家族の願いでもあります。

誰もが心身とも健やかにいつまでも笑顔でいきいきと働ける、成長を実感できる職場づくりのため、積極的に健康経営に取り組み、基本理念である「人が主役の、人を大切にした企業風土」の実現を目指しています。



心身の健康と安全

従業員の心身の健康を最も大切なことと位置づけ、積極的に健康経営に取り組んでいます。健康フェスタや体力づくりイベントの開催、職場の強み・弱みを見える化する調査の実施など、さまざまな施策を進めています。また、当たり前のことを当たり前にする「凡事徹底」に全社を挙げて取り組むことで、安心して安全に働ける職場をつくっています。



働きやすい職場づくり

従業員一人ひとりが様々なライフステージに応じて働き続けられるよう、育児・介護支援など、柔軟に働き方を選べる仕組みを整えています。オフィス職場でのフレックス勤務の導入、製造現場での女性や高齢者でも無理なく作業できる工程改善、時短勤務でも活躍できる業務の拡大など、それぞれの働き方を支援しています。



やりがい・生きがいの創出

仕事のやりがいや、人生の生きがいをもつことは、持続的な成長や活躍につながります。ダイバーシティを尊重し、人事制度や福利厚生を充実させ、ワークライフバランスを整えやすい職場環境をつくります。キャリア自律支援などを通じ、従業員一人ひとりの挑戦を後押しして人生における自己実現を支えます。

地域共生



地域に感謝し、 頼りにされる「町いちばん」の会社へ

九州でクルマづくりを続けられるのは地域の皆さまからの信頼があつてこそ——。
従業員一人ひとりが感謝の気持ちを持ち、自分にできることに取り組む。地域の皆さまにもまた“ありがとう”と思っていただける。これは、トヨタ九州の創立時から私たちが大切にしている原点です。

トヨタグループの仲間と連携し、モノづくりで培ったノウハウを活かして地域に貢献するだけでなく、九州の一員として地域のニーズに目を向けて、地域共生活動を推進しています。地域課題の解決（改善支援、交通安全プログラム、災害復興支援、フードドライブなど）やスポーツ・文化芸術の支援、そのほかのボランティア活動などを通じ、これからも地域の皆さまから頼りにされる、いちばん愛される会社を目指してまいります。



地域課題の解決

T P Sをはじめとするノウハウを活かし、モノづくりの現場の改善勉強会や、地元の中小企業の伴走型支援などを実施しています。

継続的に開催している交通安全教室やモノづくり教室には、地域から数多くの方が参加してくださっています。また、トヨタグループのネットワークを活かし、自然災害の被災地支援にも取り組んでいます。



スポーツ・文化芸術の支援

誰もがスポーツや芸術などの文化を楽しむ環境づくりを目指しています。プロチームや強化運動部だけでなく、障がい者スポーツ、モータースポーツなどトヨタのスポーツ支援を九州エリアで推進しているほか、文化振興にも取り組んでいます。また、地域の方々にスポーツの楽しさを伝えるため、陸上競技部の選手やOBがイベントなどに参加しています。

沿革

歩み (1991年～2009年)



1990	2000	2005
1991年 2月	2000年 5月	2007年 3月
1992年 12月	2001年 1月	2008年 4月
1994年 4月	2001年 4月	2008年 8月
1997年 5月	2001年 5月	2009年 4月
1998年 4月	2002年 1月	2009年 7月
1998年 12月	2004年 3月	2009年 11月

トヨタ自動車九州株式会社設立
宮田工場 起工式実施 建設工事着工

新型マークIIラインオフ
宮田工場 操業開始

チェイサーラインオフ

ES・ウィンドラムラインオフ

RX・ハリアーラインオフ

環境管理に関する国際統一規格「ISO14001」認証取得

米国IQS調査で、世界工場別No.1「プラチナ賞」受賞

ハイランダー・クルーガーラインオフ

「廃棄物ゼロエミッション」達成

創立10周年記念館「ウイング21」竣工

陸上競技部「全日本実業団対抗駅伝競走大会」に初出場

生産累計200万台達成

刈田工場 起工式実施 建設工事着工

トヨタ九州トレーニングセンター「匠の心・技・体」開所

宮田第2工場竣工

ISラインオフ

陸上競技部「九州実業団対抗毎日駅伝」初優勝

刈田工場竣工

2GRエンジンラインオフ

生産累計300万台達成

刈田第2工場竣工

小倉工場竣工

IS-Cラインオフ

HSラインオフ

SAIラインオフ



RX・ハリアーラインオフ



No.1「プラチナ賞」受賞



ハイランダー・クルーガーラインオフ



生産累計200万台達成



宮田第2工場竣工



2GRエンジンラインオフ



HSラインオフ



【新型マークII】
1992.12



【チェイサー】
1994.4



【ウィンドラム】
1997.5



【ハリアー】
1997.12



【クルーガー】
2000.11



【IS】
2005.9



【IS-C】
2009.4



【HS】
2009.7



【SAI】
2009.11

沿革

歩み (2010年～2025年)



2010	2015	2020
2010年 4月	2015年 5月	2020年 10月
2011年 1月 6月	2016年 3月 10月	2022年 4月
2013年 1月	2017年 3月	2023年 10月
2014年 7月 8月	2018年 9月 12月	2024年 5月
2015年 1月	2019年 9月 10月	
2016年 7月	2020年 10月	
2017年 1月	2022年 4月	
2018年 1月	2023年 10月	
2019年 1月	2024年 5月	

宮若市、宗像市と「連携協力に関する協定」締結

米国IQS調査で、宮田工場第2ラインが世界工場別No.1「プラチナ賞」受賞
CTラインオフ

陸上競技部が「第57回全日本実業団対抗駅伝(ニューイヤースタ伝)」で準優勝

8ARエンジンラインオフ
刈田工場

NXラインオフ
宮田工場見学者数100万人達成

品質管理の最高賞「デミング賞」受賞
テクニカルセンター竣工

再エネ水素事業運用開始
米国IQS調査で、宮田工場第2ラインが世界工場別No.1「プラチナ賞」受賞
(通算5度目、世界最多タイ)

UXラインオフ
刈田工場TINGAエンジンラインオフ

リアモーターラインオフ
品質管理の最高賞「デミング賞大賞」受賞

小学校リモート社会科見学開始

「カーボンニュートラルに関する連携協定」を北九州市と締結

リモート工場見学者数累計10万人達成

福岡県・県社会福祉協議会と災害ボランティアセンターに関する協定 締結



「連携協力に関する協定」締結



第2ラインがNo.1「プラチナ賞」受賞



8ARエンジンラインオフ



再エネ水素事業運用開始



デミング賞大賞受賞



小学校リモート社会科見学



福岡県、県社会福祉協議会と協定締結



【CT】
2011.1



【NX】
2014.8



【UX】
2018.12

生産台数 推移

